

社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院

病院長名 齊藤 雅也

所在地 〒484-8511
愛知県犬山市大字五郎丸字ニタ子塚6

交通案内 名鉄犬山駅より 徒歩20分
※名鉄犬山線「犬山駅」下車、東口よりバス有
名鉄小牧線羽黒駅より徒歩20分



病院の特徴

愛知県犬山市の中央部にあり、愛知県扶桑町、大口町の一部、岐阜県各務原市東部、可児市西部地区を診療圏とした、地域完結型、中核、総合病院として、救急医療をはじめプライマリケアから高度医療まで幅広い地域医療に取り組んでいます。

また回復期リハビリテーション病棟を併設し、高い在宅復帰率となっております。教育面でも、毎週小人数での研修医ゼミ、症例発表をおこない人材育成にも取り組んでおります。

研修の特徴

どの診療科においても指導医がマンツーマンで指導に当たる為、指導医との距離が近く、研修中の疑問や不安はその場で解決可能です。もちろん、当直も指導医とセットなので安心です。また研修医には積極的に手技をして頂いています。研修中は各科に1名しか研修医が在籍しない様になっていますので手技が独占出来ます。中心静脈カテーテル挿入など、各手技のプログラムもあります。

研修プログラムは1年目にまず、必須科目を可能な限り修了し、2年目のプログラムを研修医のご希望に沿った形で作成します。特にこの診療科を重点的に回りたい、色々な経験を積みみたいなど、ご要望を仰ってください。

また、研修を行っていく中で将来の希望診療科が変わることもあるかと思えます。その際は、各科と調整の上、都度研修科目を変更することも可能性です。



専門研修／後期研修

初期臨床研修修了後、【大学病院での勤務を考えている】、【初期研修は市中病院で経験・手技を身につけたいと考えている】方が少し増えてきていると思えます。

当院は、3年目以降の在籍義務はありません。3年目からは大学に戻り、眼科や皮膚科などのマイナー科目に進もうとしている方は、初期研修の2年間しかプライマリケアを学ぶ機会はありません。

3年目の進路が縛られていない犬山中央病院で研修を行えるのも魅力的です。出身や大学派閥もなく、留年や既卒生なども気にしませんのでご安心ください。

初期研修後も継続して当院へ残る場合も含め、将来の相談に親身にのらせて頂きます。

メッセージ

臨床研修管理委員会委員長 宮村 耕一

「青年は荒野を目指す」とは、私が若い頃の歌です。

医学生の皆様は、ちょうどこの歌詞にある様に、目の前に迫った荒野に思いを馳せていることでしょうか。

“鉄は熱いうちに打て”

若い頃の1時間は年齢を重ねてからの何十時間にも相当します。当院は巨大な病院ではありませんが、一人一人の医師の顔が見える環境で研修・診療が出来ます。

総合犬山中央病院にて充実した未来を創りたい将来の名医のあなた!是非お越しください。

初期臨床研修医 (1年次)

総合犬山中央病院は地域の中核病院であり、コモディージェズがしっかりと学べます。

研修医は少人数ですが、その分患者さんの診察や、手技を学べる機会に恵まれています。指導して下さる先生方も優しく、無理のない研修プログラムで自分の時間もしっかりと取れるところも魅力です。

地域医療に興味のある方もそうでない方も、まずは見学に来てください。

募集要項

採用実績	2021年度 2人 ・ 2022年度 2人
給与／月額	1年次 375,000円 ・ 2年次 437,500円 (※手当含まず)
当直回数／月	3回
当直料／回	1年次 15,000円～ ・ 2年次 45,000円～
その他	賞与有 (1年次 1,500,000円/年 ・ 2年次 1,750,000円/年)
応募連絡先	担当者 事務局 広報兼医師採用・サポート課
	電話番号 0568-62-8111
	Eメール rinsho@inuyamachuohospital.or.jp